

特定非営利活動法人

さがみはら市民会議 会報

2011年3月

トークサロンこの1年

さがみはら市民会議では、ネットワーク委員会の手で「トークサロン」が開催されています。トークサロンは市民と市民をつなぐ市民会議らしいユニークな試みです。どのサロンも活動紹介があり、交流を深めることができました。会員の皆さんにもお知らせしたいと思い会報を発行します。来年度こそ是非ご参加を！！

今年のトークサロン一覧

	開催日	テーマ
第33回	7月10日(土)	協働事業で活躍する市民の活動
第34回	8月21日(土)	胡椒のまるのみ
第35回	12月4日(土)	プロボノワーカー募集中！ ～個人と企業の新しい社会貢献スタイル
第36回 中止	3月19日(土)	地域・市民活動のすすめ！！ ～自治会・公民館の活動と市民活動～

第33回（参加者12人）

協働事業で活躍する市民の活動

開催場所：津久井中央公民館 3階 研修所

参加人数：ゲスト3人、一般4人、会員5人



協働事業提案制度が出来てから、多くの団体や個人の方が、この制度を利用して活躍する姿が見られます。

今回は津久井地区を拠点に昨年活動された2つのグループ（「麻布大学ヒトと動物の関係に関する教育研究センター」の馬グループと犬グループ）と、今年度この制度で活動を予定している1つのグループ（「地域花いっぱい運動」）をお招きして、活動から見てきた地域の魅力や今後の抱



負等のお話を伺いました。

津久井地区に出張ってのトークサロンは昨年に続いて2回目ですが、公民館を使用するに当たって、今回も

「リサイクルよつば」さんの協力を得ることが出来ました。

「広報さがみはら」を見て連絡下さった方が3名出席されましたが、皆さん協働事業に大変興味を持たれており、今回の資料や団体からの報告で、少しは理解いただけたかなと思いました。

今後も継続して、津久井地域の活動団体のお話しを年1回程度、企画していきたいと思えます。（滝口）

第34回（参加者9人）

胡椒のまるのみ

開催場所：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加人数：ゲスト1人、一般2人、会員6人



以前、国際交流のトークサロンのアンケートにNGO活動だけでなく、ODA活動の話を知りたいとの意見がありました。そこで、第34回トークサロンはODA（政府開発援助）で30年間に渡りJICAの農業技術支援活動を実践してきた後藤隆郎さん（JICA帰国技術者の会）に活動の話をお伺いしました。

テーマの「胡椒のまるのみ」はゲストの指定であり、歯で胡椒の果実を噛み砕くと、市販されている荒挽き粉と異なり、強烈な辛味と香りを感じます。物事は噛み砕き、あらゆる角度から吟味しなければならないという意味だそうです。

1960年にブラジルで生活した時、日本人の胡椒栽培は世界最高の技術だと聞き、丸呑みし、化学肥料、農薬を使用する栽培法で、ブラジルの産地形成に貢献しました。その後、胡椒の有機農業を知り、化学肥料、農薬を使用する栽培法と比較調査したところ、有機農業の生産費は1/8であり、収益率も高率であることが分かりました。貧しい農家には有機農業が適していることが分かりました。

ドミニカで「胡椒開発計画」のプロジェクトに参加した時、計画では化学肥料、農薬を使用する栽培法の技術移転でしたが、有機農業に変更しました。また、技術を押し付けるのではなく、農家自身の自発的な活動を支援する事に徹したところ、農家の自助努力によって農協が設立されるまでになったそうです。支援する側の生産量評価の自己満足ではなく、支援される側の学ぶ喜び、自立する力を育むという考え方に感銘を受けました。(椎野)



第35回 (参加者9人)

プロボノワーカー募集中!

～個人と企業の新しい社会貢献スタイル

開催場所: 相模原市民会館 第2中会議室

参加人数: ゲスト2人、一般2人、会員5人



「ボランティア活動に興味はあるけれど・・・」、「仕事で身につけたスキルで社会貢献できないかしら・・・。」という方を目的に応じてプロジェクト・チームに組織し、支援を求めるNPO法人と結びつける。また、個人レベルでなく、企業が社会貢献する術を支援する・・・そんな活動をしている「NPO法人サービス・グラント」のスタッフと実際にプロボノワーカーとしてプロジェクト・チームに参加した方をゲストに迎え、市民活動支援の方法や実際の内容についてお話しを伺いました。

サービス・グラントの事務局は常勤3名。運営資金は日本財団の助成金(3年間)と自主事業(企業との業務委託・・・NEC、ゴールドマンサックス)。プロボノワーカーは約650人。支援するのは東京都及び東京近郊。大阪府での展開を準備中とのことでした。

チームはNPOのニーズに合わせて編成し、NPOに2回ほどプレゼンを行い、目的等を確認する事に力を入れているそうです。プロジェクト・チームの人間関係が難しい場合もあり、場合によってはチーム編成が途中で変わることも

ありますが、社会貢献したいという目的が同じである事、有期限である事で、それなりに保つことが出来ているそうです。

プロボノは「まだ新しいもの」ということが分かりました。でも、プロボノワーカーである山口さんの個人的な思いをお聞きして、今後の可能性に期待できるとの印象を持ちました。



今回は「さがみはら市民活動サポートセンター」で運営している「たすかるバンク」と似た仕組みであり、市民会議の活動に関連性が

ある活動であるため、ネットワーク委員会の定例会をかねての開催でしたが、会員の参加が少なかったのは残念でした。(鹿野)

第36回 (中止)

地域・市民活動のすすめ!!

～自治会・公民館の活動と市民活動～

開催場所: けやき会館 第3中会議室(4階)

地域に根差した自治会や公民館の活動は、長年にわたり、幅広く地域のために、大きく貢献してきました。市民活動は比較的新しく、テーマを限定した活動を行っていて、社会に貢献しようとしています。性格の異なるそれぞれの活動の目的は同じで、より住みよい地域社会をつくることだと考えられます。

地域活動や市民活動は異なる部分もありますが、共通する部分もあり、連携する事により、より効果的な活動が出来る場合もあると考えられます。そのためには、お互いを知ることが重要だと考え、テーマを設定しました。

しかし、3月11日に発生した東日本大震災のため、中止になりました。問合せも数件あり、関心の高いテーマであるため、時期を改めて開催したいと考えています。(神田)

★★★★★★★★★★★★

さがみはら市民会議の独自事業として様々な会合を行ってきましたが、第36回までできました。第36回は残念ながら大震災の影響で中止となりましたが、それぞれが新しい交流の世界をつくってきました。

市民同士がつながることは、市民協働条例も制定されていこうとしている中、ますますトークサロンの重要性は増しています。ただ、参加者がもう少しいてくれるとなおいいと思います。(T. N.)